

令和8年4月1日

大学院事務部

令和7年度における標準修業年限以内で修了していない者の修了していない原因、および原因ごとの割合

【修士課程】

原因		割合
論文提出しない	今の研究をさらに続けるため。 調査報告書の刊行に携わるため。 自身の研究をより深めるため。	30.8%
論文取り下げ	論文の根拠となる資料・データの収集が不十分であり、さらなる検証が必要であるため。 論文としてまとまるまで至らなかったため。 来年度まで執筆に時間がかかるため。 研究及び就職活動が十分に納得のいく状況に至っていないため。 論文作成に必要な研究データの収集がうまくいかなかったため。論文作成に必要なデータの収集を行うため。	69.2%
審査不合格		0.00%
		100.00%

【博士後期課程】

原因		割合
論文提出しない	博士論文の作成を、比較対象となる研究結果の完成をもって行うため。 論文内容に大幅な修正を加える必要が生じ、論文提出を翌年度に延期することにしたため。 インタビューデータの分析過程で新たな発見があり、その分析を加える必要性が出てきたため。 仕事と研究の両立が難しく、論文の作成に十分な時間を確保することが困難なため。 調査・研究の作業に時間を要し、今年中にまとめることが難しいと判断したため。 研究継続のため。論文を書き終えていないため。 具体的な理論を網羅するには、数年の歳月を要するため。完成まで時間がかかるため。 研究内容をより説得力のある形で完成するには、もう少し時間が必要と判断したため。 研究に必要な実証データの取得が完了していないため。データ取集中のため。 研究の結論に必要な統計分析が終了していないため。	90.9%
論文取り下げ	調査が終わっていないため。 博士論文が完成しないため。	9.1%
審査不合格		0.00%
		100.00%